

## 活動目的

唐津市における漁家経営は漁場環境変化や魚価低迷等により厳しい状況にあるため後継者不足と高齢化が進み、生産基地機能低下や漁村過疎化等の問題がみられています。当法人は漁業者自らが消費者交流や6次化、漁場環境保全を通じて漁家経営を安定させ、生産基地機能維持と漁村過疎化を防ぐための支援活動を行っています。

## 活動内容

### ①消費者交流事業

幼年期の魚消費量が減少していることから、以下の事業を行っています。

- ・親子料理教室（玄海の旬の魚を使った料理教室）
- ・子ども漁業体験（釣りや定置網漁業体験を通じた魚食普及）
- ・児童養護施設への水産物寄贈（児童養護施設への水産物寄贈）

### ②販売支援事業

漁家経営向上を目的に水産加工品開発、受託製造、販売等の支援を行っています。

### ③漁場環境保全活動

#### ・藻場再生事業

水産資源を回復するため2022年から磯焼け海域で藻場再生を行っており、2022年には0.064ha、2023年には0.3haの藻場再生に成功した。また、藻場の機能回復確認のため、2024年2月にアカウニ大型種苗放流を行い、その生残率が高いことを確認しました。

#### ・海洋プラごみ回収事業

唐津市海岸や沿岸域には多くの海洋プラごみが集積して漁業操業に影響を及ぼしていることから2022年から回収を行っています。これまでに約3.5トン回収し、回収した海洋プラごみは、すべて石炭の代替燃料として環境にやさしい固形燃料にリサイクルしています。

## 活動場所

唐津市、伊万里市、玄海町



## PRしたいポイント

現在、国内における魚消費の半分は輸入に頼っており、将来「フィッシュショック」となる可能性があります。魚介類は、これまで日本人にとって身近で健康を支えてきた栄養豊かな食材です。今後、水揚げ量を回復するためにも、後継者が育つ経営・漁場環境を確保し水産基地機能を維持する必要があります。

## 今後の展開

磯焼けや海洋プラごみ問題を解決するためには、市民や行政、関係企業との連携が必要不可欠であることから、まずは関係者に関心を持っていただけるように活動を行っていきます。